

# 株主の皆さまへ

第169期中間事業概況

2019年4月1日から2019年9月30日まで



北陸瓦斯株式会社

平素は格別のご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社では第169期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の第2四半期決算をとりまとめましたので、その概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済政策の効果もあり、企業収益や雇用・所得環境の改善が進むなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、通商問題をはじめとした海外経済の動向と政策に関する不確実性に対する懸念から、依然先行きは不透明な状況にあります。

エネルギー業界におきましては、電力・ガス小売り全面自由化を受けて、エネルギー間の垣根を越えた相互参入や異業種からの新規参入に加え、エネルギー事業者間の提携が進むなど競争は一段と激しさを増しております。これまでのところ、当社グループ（当社および連結子会社）の都市ガス供給区域への新規参入の動きはないものの、他燃料との激しい競合や人口減少など当社グループを取り巻く環境も大きく変化しつつあります。

こうした情勢下にありますと、当社グループは総力をあげて都市ガスの普及拡大、保安の確保および将来に向けた事業基盤の強化に取り組んでまいりました。

業績ならびに収支の状況につきましては、3頁以降に記載のとおりであります。中間配当につきましては、当期におきましてもその実施を見送らせていただくことといたしました。なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

次に会社に対処すべき課題について申し上げます。

電力・ガスの小売り全面自由化により、エネルギー事業者間の競争は一層苛烈化しております。また、少子高齢化や人口減少、省エネルギーの進展によりエネルギー需要は長期的に減少傾向にあるなど、当社グループを取り巻く事業環境も大きく変化しつつあります。

このような状況のなか、当社グループはお客さまに選ばれる企業グループであり続けるために、今後も地域社会に根ざしたエネルギー事業者としてその役割を果たしてまいります。

そのため、「顔の見える営業」として、従来から進めております「フェイス・トゥ・フェイス訪問」をより一層推進し、家庭用はもちろん業務用のお客さまとの良好な関係を維持していくとともに、環境負荷低減につながる都市ガスのメリットをPRしてまいります。

一方、機器販売の面では、家庭用燃料電池「エネファーム」と「ガス温水暖房システム」の提案強化による都市ガスの普及拡大に加え、「リフォーム事業」にも積極的に取り組んでまいりました。

今後の市況環境を踏まえると、地域の人口が減少傾向の中、お客さま件数の伸び悩みが見込まれますが、既存住宅へのガス販売量を増加させるべく、家庭用ガス普及戦略を策定し「エネファーム」等の販売に注力いたします。

また、「ガス温水暖房システム」のさらなるPRによりヒートショック対策に有効で衛生面にも有益で快適な「浴室暖房乾燥機」や、家事の時短化につながる「衣類乾燥機」等の販売強化にも引き続き取り組んでまいります。

保安強化の面では、お客さまに安心してガスをご使用いただくため、すべてのバーナーに安全センサーが搭載された「Siセンサーコンロ」など安全型ガス機器の普及促進や「都市ガス警報器」、「住宅用火災警報器」のPR強化を図るとともに、白ガス管などの経年ガス管取替を継続的かつ積極的に推進してまいります。災害対策としては、ポリエチレン管の敷設をはじめとする供給設備の耐震化および遠隔監視操作システムの機能強化などを図ってまいります。

加えて、当社グループとして持続的な成長を遂げるため、事業環境の変化に即応しつつ、中長期的な課題に対してグループ一丸となって引き続き取り組んでまいります。また、コーポレートガバナンス・コードの趣旨を踏まえ、継続的に企業価値を高めていくこと並びに経営の健全性を維持向上させるためコンプライアンスの徹底を図ってまいります。

なお、当社は見附市が運営しておりますガス事業を2020年4月に譲受けることとなりました。今後は、見附市と引き続き十分な連携を図りながら、円滑な事業の譲受けを目指し準備に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

取締役社長

敦 井 一 友



# 業績の概況

## <売上高および収支の状況>

当第2四半期連結累計期間の売上高は、ガス販売量の増加や原料費調整に伴うガス料金単価の引き上げなどにより、前年同期比17.4%増の235億55百万円となりました。

一方、ガス販売量やLNG価格が前年同期を上回り原料費が増加したことに加え、経年ガス管取替工事に伴う費用などの増加もあり、営業費用は232億92百万円となりましたが、当第2四半期連結累計期間のLNG価格が下落傾向にあったこと、前年の柏崎市ガス事業譲受け当初に発生した費用が減少したことから、営業費用は前年同期比15.4%の増加にとどまりました。

この結果、営業利益は2億63百万円（前年同期は営業損失1億21百万円）、営業外収益および営業外費用を加えた経常利益は3億84百万円（前年同期は経常損失9百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億28百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失60百万円）となりました。

事業別（セグメント別）の概況は次のとおりであります。

なお、事業別の売上高およびセグメント利益又はセグメント損失には、事業間の内部取引に係る金額を含んでおります。

## <都市ガス>

当第2四半期末のお客さま件数は、前年同期末に比べ0.3%増の440,758件となりました。

ガス販売量につきましては、大口需要家の稼働増加により、前年同期比14.4%増の195,322千 $\text{m}^3$ となりました。

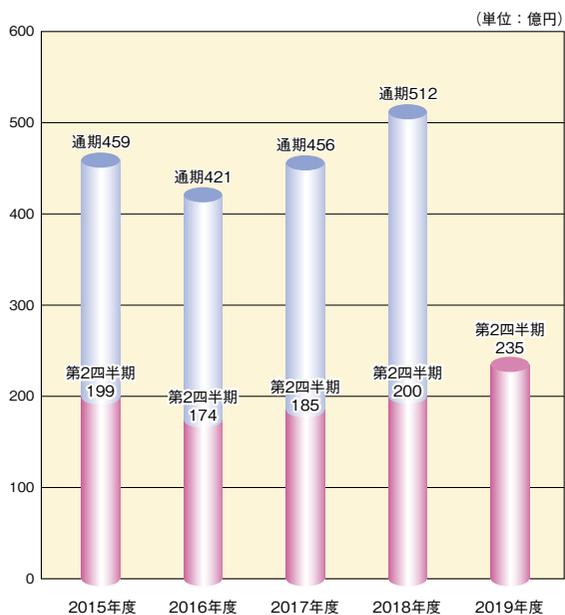
都市ガス事業（付随する受注工事および器具販売を含む）の売上高は、ガス販売量の増加や原料費調整に伴うガス料金単価の引き上げなどにより、前年同期比16.1%増の214億95百万円、セグメント利益はLNG価格が下落傾向にあったことなどから59百万円（前年同期はセグメント損失2億48百万円）となりました。

（注）ガス販売量は1 $\text{m}^3$ 当たり45メガジュール換算で表示しております。

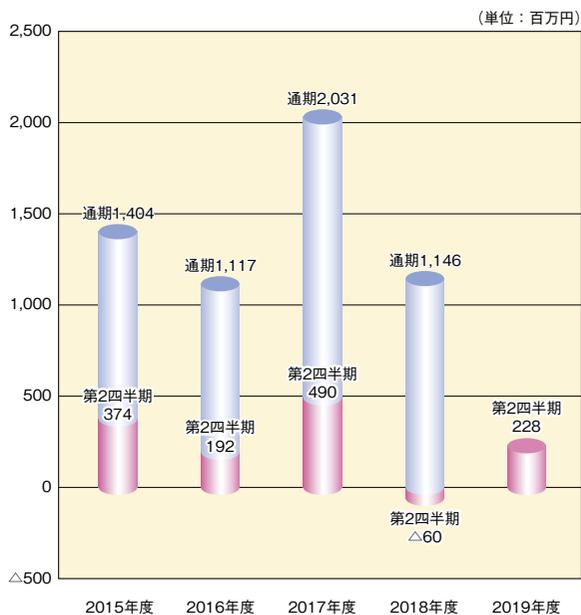
## <その他>

その他の事業の売上高は前年同期比15.1%増の39億10百万円、セグメント利益は前年同期比60.4%増の2億28百万円となりました。

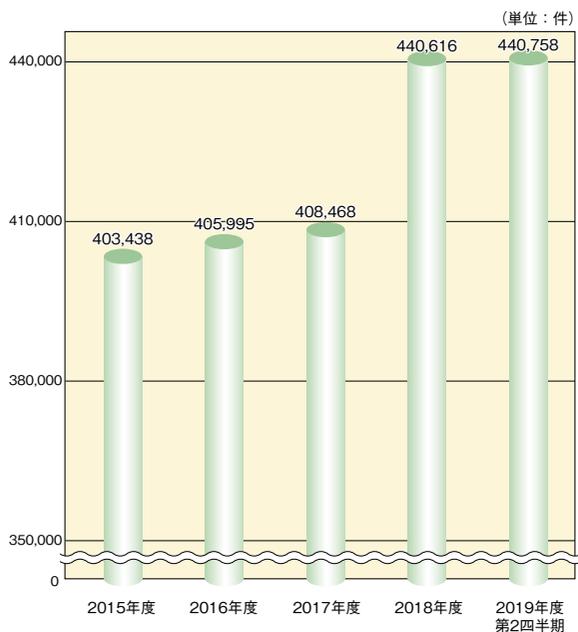
## 売上高



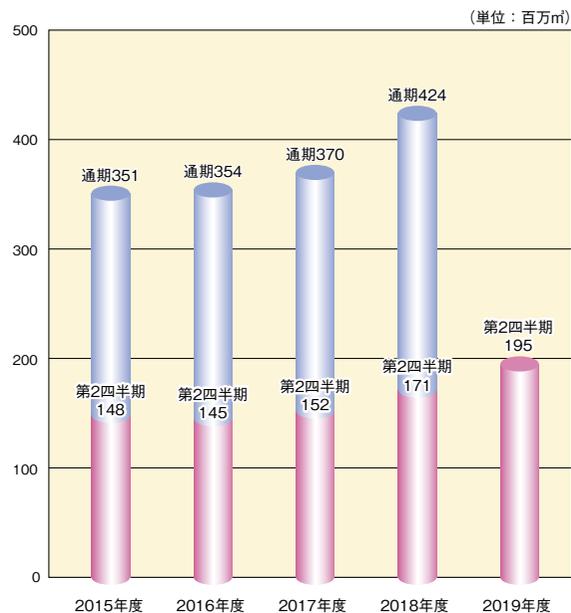
## 親会社株主に帰属する当期純利益



## お客さま件数



## ガス販売量



(注) 1 m<sup>3</sup>当たり45.0メガジュールに換算して表示しております。

(注) 2017年5月2日付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、2016年度において過年度の決算訂正を行っております。上記各数値は決算訂正後の数値であります。

# 連結計算書類

## 連結貸借対照表

資産の部	当第2四半期末 (2019.9.30)	前期末 (2019.3.31)
<b>固 定 資 産</b>	<b>49,669</b>	<b>50,304</b>
有 形 固 定 資 産	41,581	41,655
製 造 設 備	4,297	4,402
供 給 設 備	33,854	34,370
業 務 設 備	1,913	1,550
そ の 他 の 設 備	908	912
建 設 仮 勘 定	607	419
無 形 固 定 資 産	2,681	2,816
の れ ん	1,900	1,973
その他無形固定資産	780	843
投 資 そ の 他 の 資 産	5,406	5,832
投 資 有 価 証 券	2,023	2,238
繰 延 税 金 資 産	596	597
そ の 他 投 資	2,793	3,005
貸 倒 引 当 金	△ 7	△ 9
<b>流 動 資 産</b>	<b>9,110</b>	<b>10,559</b>
現 金 及 び 預 金	4,007	4,318
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	3,833	4,987
有 価 証 券	220	190
そ の 他 流 動 資 産	1,056	1,072
貸 倒 引 当 金	△ 7	△ 9
<b>資 産 合 計</b>	<b>58,779</b>	<b>60,863</b>

(単位：百万円)

負債の部	当第2四半期末 (2019.9.30)	前期末 (2019.3.31)
<b>固 定 負 債</b>	<b>3,280</b>	<b>3,350</b>
長 期 借 入 金	617	850
役員退職慰労引当金	137	143
ガスホルダー修繕引当金	1,379	1,168
器具保証引当金	258	263
退職給付に係る負債	398	413
そ の 他 固 定 負 債	489	510
<b>流 動 負 債</b>	<b>7,732</b>	<b>9,624</b>
1年以内に期限到来の固定負債	905	1,049
支払手形及び買掛金	2,242	3,376
短 期 借 入 金	500	450
未 払 法 人 税 等	221	497
そ の 他 流 動 負 債	3,863	4,250
<b>負 債 合 計</b>	<b>11,013</b>	<b>12,974</b>
<b>純資産の部</b>	<b>当第2四半期末 (2019.9.30)</b>	<b>前期末 (2019.3.31)</b>
<b>株 主 資 本</b>	<b>44,222</b>	<b>44,378</b>
資 本 金	2,400	2,400
資 本 剰 余 金	21	21
利 益 剰 余 金	41,820	41,975
自 己 株 式	△ 18	△ 18
<b>そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額</b>	<b>481</b>	<b>454</b>
その他有価証券評価差額金	793	844
退職給付に係る調整累計額	△ 311	△ 390
<b>非 支 配 株 主 持 分</b>	<b>3,062</b>	<b>3,056</b>
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>47,766</b>	<b>47,889</b>
<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>58,779</b>	<b>60,863</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■連結損益計算書

費用	当第2四半期累計期間 (2019.4~2019.9)	前第2四半期累計期間 (2018.4~2018.9)
売上原価	13,773	10,880
(売上総利益)	(9,782)	(9,182)
供給販売費及び一般管理費	9,518	9,304
供給販売費	8,298	8,113
一般管理費	1,219	1,191
(営業利益又は営業損失(△))	(263)	(△ 121)
営業外費用	6	7
支払利息	2	6
投資有価証券評価損	3	0
その他	0	1
経常利益又は経常損失(△)	384	△ 9
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	384	△ 9
法人税等	134	17
四半期純利益又は四半期純損失(△)	250	△ 26
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	34
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	228	△ 60
合計	23,683	20,184

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

収益	当第2四半期累計期間 (2019.4~2019.9)	前第2四半期累計期間 (2018.4~2018.9)
売上高	23,555	20,063
営業外収益	127	120
受取利息	1	2
受取配当金	37	39
受取賃貸料	38	39
その他	49	40
合計	23,683	20,184

## ■連結子会社（5社）

北陸天然瓦斯興業(株)、北陸ガスエンジニアリング(株)、  
北陸ガスリビングサービス(株)、蒲原瓦斯(株)、北栄建設(株)

# 計算書類

## 貸借対照表

資産の部	当第2四半期末 (2019.9.30)	前期末 (2019.3.31)
<b>固 定 資 産</b>	<b>42,241</b>	<b>43,102</b>
有 形 固 定 資 産	37,142	37,713
製 造 設 備	4,317	4,403
供 給 設 備	31,166	31,724
業 務 設 備	1,298	1,327
附 帯 事 業 設 備	4	4
建 設 仮 勘 定	355	253
無 形 固 定 資 産	2,636	2,766
借 地 権	1	1
鉱 業 権	0	0
の れ ん	1,900	1,973
その他無形固定資産	734	791
投 資 そ の 他 の 資 産	2,462	2,622
投 資 有 価 証 券	1,799	1,866
関 係 会 社 投 資	312	312
出 資 金	0	0
長 期 前 払 費 用	167	176
前 払 年 金 費 用	128	220
繰 延 税 金 資 産	8	-
そ の 他 投 資	53	56
貸 倒 引 当 金	△7	△9
<b>流 動 資 産</b>	<b>4,224</b>	<b>5,656</b>
現 金 及 び 預 金	750	973
受 取 手 形	169	269
売 掛 金	2,405	3,456
関 係 会 社 売 掛 金	22	10
未 収 入 金	206	446
製 品	49	76
原 料	15	15
貯 蔵 品	376	323
前 払 費 用	87	0
関 係 会 社 短 期 債 権	43	29
そ の 他 流 動 資 産	104	62
貸 倒 引 当 金	△6	△8
<b>資 産 合 計</b>	<b>46,465</b>	<b>48,758</b>

(単位：百万円)

負債の部	当第2四半期末 (2019.9.30)	前期末 (2019.3.31)
<b>固 定 負 債</b>	<b>2,226</b>	<b>2,495</b>
長 期 借 入 金	415	832
繰 延 税 金 負 債	-	8
ガ ス ホ ル ダ ー 修 繕 引 当 金	1,168	984
器 具 保 証 引 当 金	259	266
そ の 他 固 定 負 債	382	404
<b>流 動 負 債</b>	<b>6,677</b>	<b>8,413</b>
1年以内に期限到来の固定負債	833	1,043
買 掛 金	1,612	2,773
短 期 借 入 金	500	450
未 払 金	916	891
未 払 費 用	1,142	1,261
未 払 法 人 税 等	135	371
前 受 金	819	872
預 り 金	48	60
関 係 会 社 短 期 債 務	668	689
<b>負 債 合 計</b>	<b>8,903</b>	<b>10,908</b>
<b>純資産の部</b>	<b>当第2四半期末 (2019.9.30)</b>	<b>前期末 (2019.3.31)</b>
<b>株 主 資 本</b>	<b>36,774</b>	<b>37,012</b>
資 本 金	2,400	2,400
資 本 金	2,400	2,400
資 本 剰 余 金	21	21
資 本 準 備 金	21	21
<b>利 益 剰 余 金</b>	<b>34,371</b>	<b>34,609</b>
利 益 準 備 金	600	600
そ の 他 利 益 剰 余 金	33,771	34,009
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	80	83
別 途 積 立 金	26,100	26,100
繰 越 利 益 剰 余 金	7,590	7,826
自 己 株 式	△18	△18
自 己 株 式	△18	△18
<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	<b>787</b>	<b>836</b>
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	787	836
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	787	836
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>37,562</b>	<b>37,849</b>
<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>46,465</b>	<b>48,758</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

費用	当第2四半期累計期間 (2019.4~2019.9)	前第2四半期累計期間 (2018.4~2018.9)
売上原価	8,973	7,098
期首たな卸高	76	55
当期製品製造原価	4,045	3,857
当期製品仕入高	4,927	3,271
当期製品自家使用高	27	26
期末たな卸高	49	59
(売上総利益)	(8,223)	(7,801)
供給販売費	7,291	7,181
一般管理費	906	907
(事業利益又は事業損失(△))	(25)	(△ 287)
営業雑費用	2,421	1,996
受注工事費用	579	583
その他営業雑費用	1,841	1,412
附帯事業費用	4	4
(営業利益又は営業損失(△))	(74)	(△ 293)
営業外費用	4	7
支払利息	2	6
投資有価証券評価損	2	0
雑支出	0	0
経常利益又は経常損失(△)	212	△ 169
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	212	△ 169
法人税等	67	△ 38
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	144	△ 130
合計	19,813	17,026

(単位：百万円)

収益	当第2四半期累計期間 (2019.4~2019.9)	前第2四半期累計期間 (2018.4~2018.9)
ガス事業売上高	17,196	14,899
ガス売上	17,196	14,899
営業雑収益	2,429	1,949
受注工事収益	571	567
その他営業雑収益	1,857	1,382
附帯事業収益	46	44
営業外収益	141	131
受取利息	0	0
受取配当金	50	48
受取賃貸料	46	47
雑収入	44	36
合計	19,813	17,026

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■見附市ガス事業譲渡に関する契約の締結について

当社は、見附市とガス事業譲渡に関する契約を締結いたしました。

見附市が運営するガス事業を2020年4月1日に民営化するため、2018年9月に事業譲渡に関する公募が開始されたのを受け、当社は、本事業譲受けが北陸ガスグループの企業価値および株主価値を高め、天然ガスのさらなる普及・拡大および地域社会の皆さまの便益増大に資すると判断し、事業提案書を提出いたしました。その後、見附市ガス事業譲渡先選定委員会の審査等を経て、優先交渉権者に選定され、見附市議会での関連議案の可決等の結果、2019年6月26日に事業譲渡に関する契約の締結に至りました。

今後は、2020年4月1日の事業譲受けに向け、見附市と引き続き十分な連携を図り、円滑な事業の引き継ぎを目指してまいります。

### 〈見附市のガス事業の状況〉

供給区域	見附市、長岡市（中之島地域）
お客さま件数 （メーター取付数）	12,842件
ガス販売量	13,605千m <sup>3</sup> （45メガジュール換算）
ガス売上高	1,307百万円

（2018年度実績）



見附市久住市長（左）と当社教井社長（右）

## ■家庭用燃料電池「エネファーム」累計稼働台数2,000台を達成

当社は、8月末（2011年6月販売開始から約8年）をもって、家庭用燃料電池「エネファーム」の累計稼働台数が2,000台<sup>\*1</sup>を達成いたしました。

「エネファーム」は、省エネ・省CO<sub>2</sub>といった環境性に加え、電力のピークカットにも貢献する分散型のエネルギーシステムです。また、「停電時発電継続機能<sup>\*2</sup>」が標準装備され、昨今多発している集中豪雨や台風などの自然災害による停電時に、「電気」「お湯」「暖房」が使用できることからエネルギーセキュリティ向上への貢献も期待されています。

2019年5月には新型のエネファームを発売し、多くのお客さまや住宅メーカーさまから高く評価をいただき、ご採用いただいております。

当社は、今後も「エネファーム」の普及促進に取り組むとともに、お客さまの快適な暮らしの実現と環境負荷の低減、エネルギーセキュリティの向上などに貢献してまいります。

※1：9月末時点の累計稼働台数2,065台。

※2：停電時にエネファームを発電させるには都市ガスと水道が供給状態であることが必要です。

### 「エネファーム」累計稼働台数の推移



\*2019年9月末実績

### 【停電時に使える機器の目安】



※機種や使用状況により異なります。

# 『ガスご使用量のお知らせ(兼)ガス料金等領収証』及び『ガス料金等請求書兼払込書』の様式変更について

当社は、毎月の検針時にお届けしております『ガスご使用量のお知らせ(兼)ガス料金等領収証(以下、「検針票」)』と、『ガス料金等請求書兼払込書(以下、「払込書」)』の様式を2019年11月検針時から以下のとおり変更いたしました。

## 1. 検針票の様式変更

- 検針票のレイアウトを縦型から現行より大きい横型に変更。これによりQRコードなどの記載情報を増やし、より分かりやすい様式へ。
- 検針票に記載する文字を読みやすい文字(ユニバーサルデザイン)へ変更。

## 2. 払込書の様式変更

- これまでガス料金を払込みによりお支払いされているお客さまに対し、検針日の数日後に払込書を郵送していたものを、検針票と払込書を一体化した様式に変更して検針の際に投函することで、より早く払込書をお客さまへお届け。
- 新しい払込書は、これまでどおりコンビニエンスストア、取扱金融機関、ガスショップ、ガスホール、当社支社・事務所のお支払い窓口でご使用いただけるほか、2019年7月より開始したスマートフォンアプリ(LINE Pay、PayB)でのお支払いにもご利用可能。

※一部のお客さま(払込書を使用場所以外の住所に郵送しているなど)につきましては、これまでどおりの払込書を郵送いたします。

当社は、今後もさらなるサービスの充実を図り、お客さまの快適な暮らしの実現に貢献してまいります。

### <検針票の様式変更イメージ>



### <払込書の様式変更イメージ>



※イメージ図のため、実際の検針票、払込書と異なる場合があります。

家庭用燃料電池

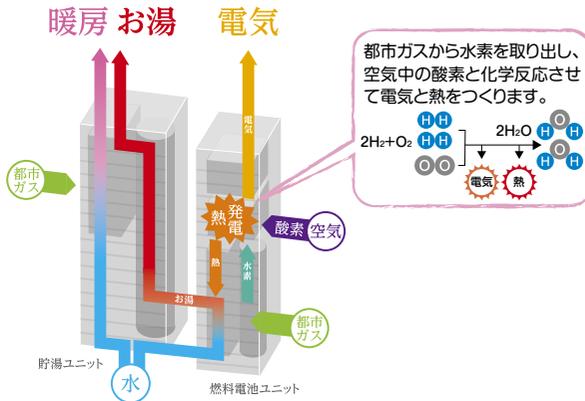
## エネファーム

ガ、スマート!

ガスで電気をつくり、  
発電時の熱で  
お湯もつくります



「エネファーム」及び「ENE-FARM」は登録商標です



ポイント  
①

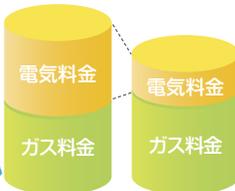
### 光熱費がおトク!

エネファーム導入による  
光熱費削減イメージ

購入電力量が  
約60%  
ダウン!



※戸建住宅4人家族(150㎡、新築)  
当社シミュレーションによる算出



従来システム エネファーム

ポイント  
②

### 10年フルメンテナンスサポート!

お客さまにいつまでも快適にエネファームをお使いいただくために万全のアフターサービスをご用意しております。

#### 定期点検

約5年毎に点検や消耗部品  
を無償で交換いたします。



#### 修理対応

万が一の故障発生時には  
無償で修理対応いたします。

ポイント  
③

### 停電時も電気が使えて安心!

停電時にも照明や給湯が使用でき安心です。(500Wまで)  
また、テレビ等で情報収集も可能です。



照明 40W  
(ダウンライト5個)



テレビ 82W



床暖房



シャワー

※大阪北部地震でもその有用性が実証されました。

※停電時専用コンセントが必要となります。  
※停電時の発電には、ガスと水道水の供給が必要です。  
※出典：(一財)省エネルギーセンター「省エネ性能カタログ(2017年冬版)」

ポイント  
④

### 優れた環境性!

年間  
約1,320kgの  
CO<sub>2</sub>を削減



約95本の  
杉の木約95本の  
植林に相当

※杉の木のCO<sub>2</sub>吸収量原単位=13.9kg-CO<sub>2</sub>/年・本  
(林業白書平成9年より050年杉 直径26cm 樹高22m)

快適環境おしらせ機能付き

住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器

# 快適ウォッチ

## が、スマート!

熱中症やインフルエンザなどのウイルス対策にも役立つ、新たな警報器



住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器

# 快適ウォッチ

快適環境おしらせ機能付き

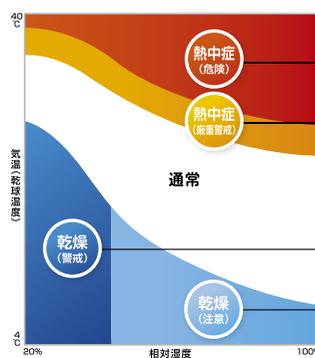
住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器

# 快適ウォッチ



### 火災・ガス・CO警報に加え、熱中症と乾燥をおしらせ!

■ 快適環境おしらせ範囲



※WBGT: 暑熱環境下におけるリスクの度合いを判断するために用いられる指標

夏は熱中症対策に

温度と湿度から「暑さ指数(WBGT)」※を算出し、熱中症の危険がある状態をおしらせ



熱中症(危険)

危険

音聲

青ランプ点灯

+ 音聲

ポーン 部屋がたいへん暑くなっています。風通しをよくし水分が不足をひきよめよう



熱中症(厳重警戒)

厳重警戒

青ランプ点灯

冬はインフルエンザなどの対策に

空気が乾燥したインフルエンザなどにかかりやすい状態をおしらせ



乾燥(警戒)

警戒

音聲

青ランプ点灯

+ 音聲

ポーン 部屋が乾燥しないよう心がけましょう



乾燥(注意)

注意

青ランプ点灯

# Si センサーコンロ

全口センサー搭載

## が、スマート!

「Siセンサーコンロ」は全口に安全センサーを搭載。安心・安全機能いっぱいの頼れるSiセンサーコンロは、ついっかりにもしっかりと対応します。グリルでは焼き魚はもちろんお菓子づくりまで、お料理がもっと楽しく、美味しく、簡単につくれます。また、ビルトインコンロは既設のコンロから簡単に取り替えられます。



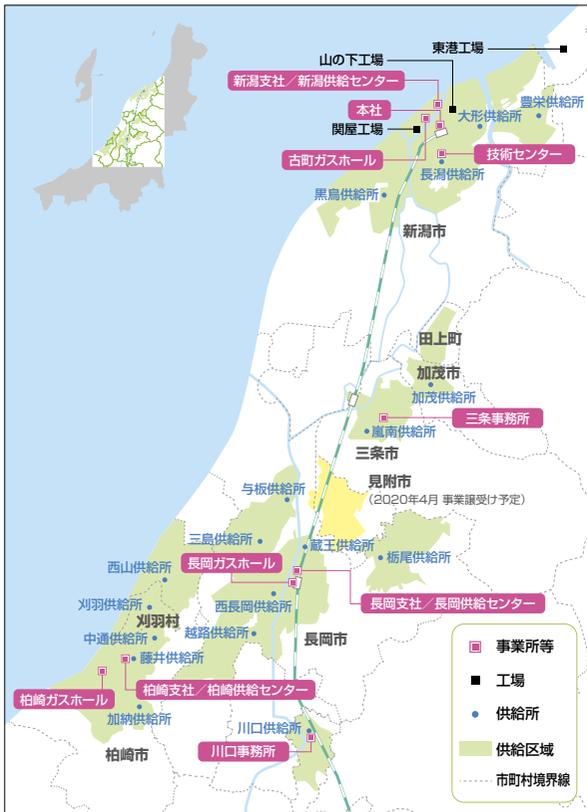
# 会社の概要 (2019年9月30日現在)

商号 北陸瓦斯株式会社  
設立 1913年6月2日  
資本金 24 億円  
主要な事業内容 1.都市ガスの製造、供給および販売  
2.ガス受注工事の施工  
3.ガス機器の販売  
ホームページ <http://www.hokurikugas.co.jp>

## ■事業所

本社 新潟市中央区東大通一丁目2番23号  
新潟支社  
新潟供給センター 新潟市中央区附船町一丁目4401番地  
長岡支社  
長岡供給センター 長岡市西神田町二丁目1番地2  
三条事務所 三条市北中1番8号  
柏崎支社  
柏崎供給センター 柏崎市大字藤井2098番地5

## ■事業所、工場等および供給区域



## ■取締役および監査役

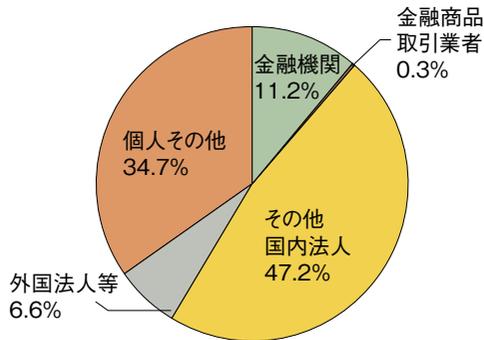
取締役会長	敦井 榮一
取締役社長	敦井 一友
常務取締役	今井 康晴
常務取締役	津野 徹
取締役	高橋 嘉津夫
取締役	森 裕之
取締役	清水 崇之
取締役	小林 宏一
取締役	並木 富士雄
取締役	鶴巻 克恕
常勤監査役	篠原 昭博
監査役	西潟 精一
監査役	能勢 正敏

# 株式の状況 (2019年9月30日現在)

## 株主の状況

発行可能株式総数 9,600 千株  
 発行済株式の総数 4,800 千株  
 株主数 2,351 名

## 所有者別株式分布状況

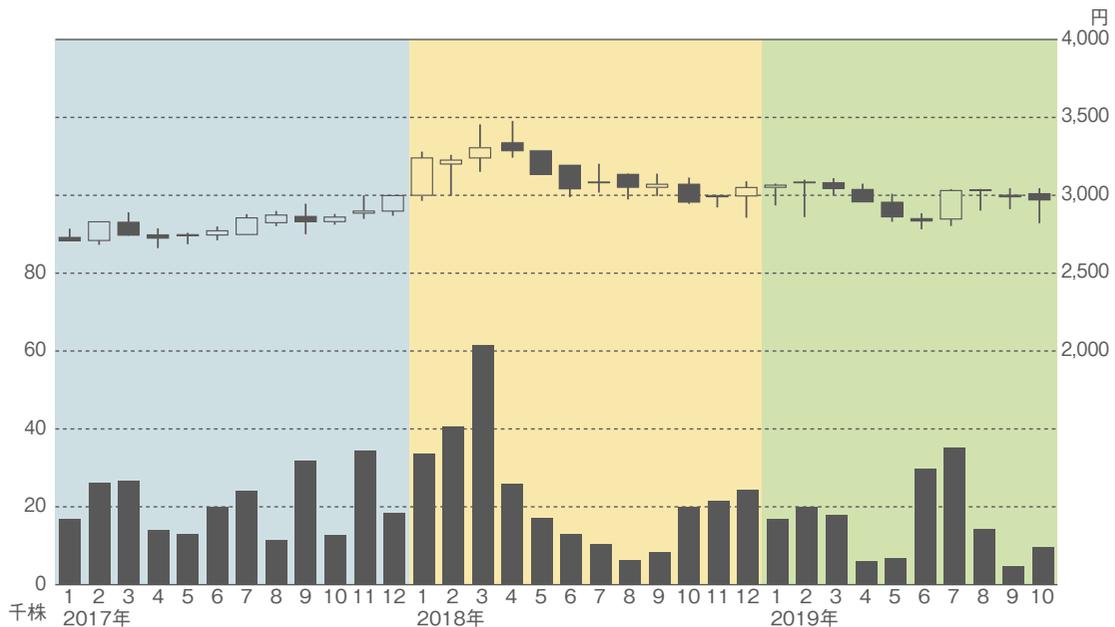


## 大株主

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
敦井産業株式会社	530	11.05
公益財団法人北陸瓦斯奨学会	413	8.62
新潟ヒューム管株式会社	261	5.45
公益財団法人敦井奨学会	237	4.95
ビービーイーフォーフィデリティロープライズストックファンド (プリンシパルオールセクターサポートフォリオ)	151	3.14
株式会社第四銀行	137	2.85
公益財団法人敦井コレクション	134	2.80
三条信用金庫	118	2.46
株式会社光通信	114	2.39
株式会社パロマ	104	2.18

(注) 所有株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

## 株価および出来高の推移



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月中	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当	3月31日
	中間配当	9月30日
単元株式数	100株	
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ証券 本店、全国各支店および営業所
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

### 公告方法

当社のホームページ(<http://www.hokurikugas.co.jp>)に掲載します。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場金融商品取引所	東京証券取引所
証券コード	9537

## 北陸瓦斯株式会社

新潟市中央区東大通一丁目2番23号

TEL 025-245-2211

<http://www.hokurikugas.co.jp>



※この印刷物は、環境に配慮してFSC® 認証証及び適切に管理された森林から作られたFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。



**Facebook**  
北陸ガス公式ページ




北陸ガス フェイスブック 検索

<https://www.facebook.com/hokurikugas/>